

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	保小中連携による教育活動の向上	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	事務局費	事業番号	1183		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	1	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	小1、中1で表れる問題やギャップなどの解消に向けた保小中の連携を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の連携による情報 ・園児・児童・生徒の交流 ・保護者への情報提供

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額					0
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	保（幼）小連絡会・体験交流	回	4	4	4	100%
②	小中連絡会・交流授業・体験入学	回	5	5	5	100%
③	保護者対象学校説明会の実施（小中で実施）	回	2	2	2	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・各連絡会、中学校出前授業、小中学校ともに体験入学を実施し、保小中間でのギャップ解消に努めた。 ・保護者への入学前学校説明会を実施し、学校生活への見通しを持ってもらえるようにした。 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ようちえん、保育園の交流と小学校との接続についてカリキュラムも含めて改善に向かっている。 小学校中学年段階での不適応の発生を就学前と小学校就学開始時期の活動見直しにより未然に防ぐ。 				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：関係機関の連携が進み、児童生徒理解も適時に行われている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<p>日頃から保小中との情報共有に加え福祉課との連携を強化し、児童生徒の特性や発達状況を早期に把握し、入学時等における精神的な障壁を乗り越えられるよう支援を行う。</p>

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	特別支援教育における支援体制の充実	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	智頭小学校・中学校教育委振興・特別支援教育総合推進事業	事業番号	1593・1188・1987		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	2	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	支援体制づくりにより、発達障がい等を含む障がいのある子どもたちを適切に支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・早期支援コーディネーターの配置 ・特別支援教育支援員の配置

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額	17,601,000			
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	早期支援コーディネーター	人	1	1	1	100%
②	特別支援教育支援員数（小学校）	人	6	6	6	100%
③	特別支援教育支援員数（中学校）		1	1	1	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・早期支援コーディネーターによる早期並びに継続的な園児、児童生徒の支援と教職員研修の実施。 ・必要人員を配置し、特別支援学級と支援を要する児童の安定を図ることができている。 ・支援の必要性に応じて優先順位をつけ、柔軟に支援員を配置することができるようになった。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援児童生徒の多様化に対応するよう配置の調整を現状を踏まえて適切に行い、事業を継続する必要がある。 ・児童生徒の支援体制に資する人材（質と量）の見直しと確保が必要。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 支援員の働きかけにより安定した学習環境を整えることができている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と小、中学校が情報を共有し、保護者の育児不安や子どもの発達障がいなどの特性を早期にキャッチできる体制を構築する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	学校評議員の意見を取り入れた学校運営の充実	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	社会教育委員費	事業番号	1189		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	3	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	学校と保護者、地域住民が連携協力し、地域に開かれた学校運営により子どもたちの健やかな成長を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員会の開催、学校開放日(参観日)による開かれた学校づくりを実施 ・ゲストティーチャーの活用による郷土学習の推進 ・コミュニティスクールの導入に向けた協議・検討

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額				0	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	学校関係者評価委員会への参加（小学校）	回	2	2	2	100%
②	学校関係者評価委員会への参加（中学校）	回	2	2	2	100%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・評議委員会を開催し、地域に開かれた学校運営に努めた。 ・学校公開日の設定やゲストティーチャーによる授業を実施した。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場と学校評議員が連携し、地域に開かれた学校づくりに努めている。 ・学校公開により、保護者や地域住民への学校教育活動への理解と協力体制の構築が進んだ。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 学校活動の発信に努め、地域やPTAとの協力体制も整っている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も現行の体制を維持し、地域に開かれた学校運営に努める。 ・令和3年度内にコミュニティスクールの理念を導入した小中学校の運営を目指す。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	教職員の教育力の充実	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	学力向上推進プロジェクト事業	事業番号	2001		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	4	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	子ども・保護者・地域から尊敬され、信頼される質の高い教師を養成・確保する
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回の町教育委員会学校訪問（小中学校） ・教職員授業力アップ研修会（夏季小中合同研修） ・県外の先進的な取り組みの視察

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額				0
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	町教育委員会学校訪問での指導助言	回	4	4	4	100%
②	教職員授業力アップ研修の実施	回	1	1	1	100%
③	県外視察	回	1	1	0	0%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問により、学校の実態を把握し、教職員への指導助言を適時行った。 ・小中合同の夏季研修を行い、遠隔授業をICT活用で実施できるように技能を高めた。 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の現状に求められる研修内容で研修が進められている。 ・県外の講師を招聘するのが難しい状況にあり、県内講師や指導主事による研修、リモートでの研修になる。 ・県外視察が困難な状況にある。 				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：小中連携で教職員の授業力が向上している。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の影響により、今後も講演会や研修がリモートやオンラインでの対応となることが予想される。 ・ICTを有効利用し、必要な研修を適宜実施できる体制の構築に努める。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	学校現場でのICT機器の活用	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	智頭小学校・中学校教育振興事業／智頭小学校・中学校管理事業	事業番号	1593/1188/1599/1187		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	5	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	ICT機器導入により多様な学びと個別最適化した指導体制を展開し、児童生徒の学力、ICT活用能力を高める。				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器およびネットワークの整備・保守 ・ ICT機器を活用した学びの充実(ICT支援員によるサポート) ・ 児童生徒の学力、ICT活用能力の育成（e－ラーニング教材） 				

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額		54,534,996			
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	ICT機器の整備（タブレット）	台	200	450	450	225%
②	ICT支援員の配置	人	0	1	1	－
③	e－ラーニング教材導入と情報モラル教育（メディコンウィーク）	校	0	2	2	－
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校ネットワークの整備、児童生徒一人一端末の整備 ・ ICT支援員の配置（授業支援及び教員の機器能力の向上） ・ e－ラーニング教材の導入と活用 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 年内にネットワークの整備が進み、年度末までに児童生徒一人一端末の整備が完了予定。 ・ ICT支援員導入により、教員の授業へのICT活用意識が高まってきた。 ・ 児童生徒一人一端末の整備後の授業と学び方の在り方を明確にし、活用の充実を図る。 				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：授業でICT機器活用の整備とサポート体制が進んでいる。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校内のICT化(ハード整備)が整い、ICT支援員による授業サポート体制を強化し、学校現場でICT機器を活用した授業が円滑に行われるよう支援すると同時に、先生のICT機器活用のスキルアップを行う。 ・ 学校休業時などにも家庭でリモート授業が受けられるよう、各家庭のインターネット環境整備の補助を行う。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	児童生徒の顔が見える少人数学級の実施	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	智頭小学校教育振興事業	事業番号	1593			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	7	連番	73

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	適正な学級編成人数の保障により、児童生徒に対するきめ細かい指導・支援体制を作る。
Plan(事業概要・計画)	<p>県の少人数学級事業(小学1・2年30人、中学1年33人、他学年1学級35人以下)を活用し、全クラス少人数学級を継続実施する。</p>

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			4,000,000	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	少人数学級該当学級数（小学校）	学級	2	2	2	100%
②	少人数学級該当学級数（中学校）	学級	1	0	0	0%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 小学校第4学年、第6学年の2学年に鳥取県の少人数学級事業を適用して学級編成。1学級25人程度の児童生徒数を実現し、適正規模でのきめ細かい指導・支援を実施。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する児童生徒の実態に応じた指導や支援を実施できた。 児童生徒数の減少により、今後、町負担の事業活用が増える。予算確保が必要となる。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：少人数学級できめ細かな指導・支援ができている。ただし1学級30人が理想。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)						
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学力向上と情緒の安定を図り、発達・発育を支えるためには、少人数学級の活用が望ましい。 小学校において、引き続き少人数学級の措置を行い、子どもの特性に寄り添える授業体制を構築する。 					

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	学校不適応児童生徒に対する適切な指導の推進	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	スクールソーシャルワーカー活用事業	事業番号	2057		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	8	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカー配置による児童生徒の相談・支援体制づくり。 ・児童生徒の家庭環境等の背景把握による不登校、学校不適応への対応。 ・みどりヶ丘教室等の教育支援施設、家庭教育支援チーム、福祉課等関連機関との連携を図る。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額					3,238,155
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	スクールソーシャルワーカーの配置	人	1	1	1	100%
②	児童生徒に係る教育相談への対応・支援	校	2	2	2	100%
③	みどりヶ丘教室による不登校支援	人	1	2	3	200%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校中心に児童生徒の様子を観察し、担任、教育相談担当との情報共有を行う。 ・家庭環境について関連機関と連携して情報収集し、ケース会議等での適切な対応につなげる。 ・みどりヶ丘教室等の教育支援施設による不登校児童生徒の支援。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりにいかない案件や、優先順位が高いものが並列的にあり、増加傾向にある。 ・家庭教育の多様化により、支援が必要な家庭が多く見受けられる。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：福祉課との連携により児童生徒の家庭を背景とした支援ができています。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に適応できない子どもが増加傾向にあり、今後ますますSSWの活用が重要となる。 ・学校と教育委員会、福祉課等の関係機関を繋ぎ、課題解消に向けたコーディネートが必要。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	学校と家庭の連携による良好な生活習慣の定着	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	家庭教育学級事業	事業番号	1199		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	①学び	事業番号	9	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	保護者と共に育む家庭教育及び豊かな子育ての推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する生活と家庭環境に関わらず、保護者の充実した子育てにより親子の良好な関係構築を応援する。 ・保護者の不安や困り感を早期に把握できる体制を整え、関係機関と協力して課題解消を図る。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額				126,979	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	小学校1年生の家庭訪問を実施	回	1	1	1	100%
②	子育て講座の開催	回	4	3	1	75%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課と共に小学1年生の家庭訪問を実施。今後、小学校と情報共有し課題解決や不安解消に向けて調整する。 ・家庭教育支援チームの活動を休止した。 ・保育園PTA支部単位で子育て講座を予定していたが未実施。今年度中に1地区でも実施したい。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の家庭訪問実績により養育者との対話や家庭内を把握する要領を掴んだ。問題解消のプロセスが課題。 ・感染症予防に配慮した学習機会(親育ちプログラム等)の企画と開催方法を検討する必要がある。 ・多種多様な家庭環境にアプローチするためには保護者同士のコミュニティ(PTA)をうまく活用したい。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：家庭訪問により届ける支援を進めている。メディコンが課題。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に適應できない児童生徒の増加は、家庭環境が一因と予想される。養育者の子育て意識や困り感を把握しつつ、親子が相互に満たされる関わり方を学び、習得できる機会を設ける。 ・家庭教育支援チームに代わり、福祉課(保健師・母子保健)と協力した家庭教育支援方策を検討する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	学校と家庭の連携による良好な生活習慣の定着	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	放課後児童クラブ	事業番号	1861		
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	①学び	事業番号	9	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	子どもの健全育成を目的とした放課後の居場所づくりと保護者の就労支援
Plan(事業概要・計画)	<p>友達同士の遊びが画一化する現代では、児童クラブでの過ごし方が子どもの社会性を育む大切な要素でもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員の対人援助研修を重ね、子どもの人格を尊重した関わりに務め、情緒の育ちと自己承認感を高める。 ・保護者の就労支援が豊かな子育てと家庭教育に繋がると捉え、多様化する就労形態にきめ細かく対応する。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額		14,101,525			
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	利用児童の登録人数	人	147	130	140	88%
②	支援員のスキルアップ研修実施	人・回	12	12	12	100%
③						
実施内容	<p>・子どもとの関わり方について、支援員が大切にすることをテーマに意見交換を重ね、認識の共有化を図った。 （子どもとの接し方・熱中症や感染症予防・あいさつや整理整頓などの習慣化・夏休み中のイベント企画）</p>					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>・支援員は日々子どもの成長のために何ができるかを考えて従事している。家庭は就労支援のための一時預かりとしての認識が色濃い。保護者に対し、児童クラブの意義と家庭教育の重要性について理解を得る取組が必要。</p> <p>・支援員の資質は向上しているが、高齢化も進行している。今後の人材確保と運営の在り方の検討が必要。</p>					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：放課後の密接な関わりにより子どもたちの成長に貢献している。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数が減少する反面、親の就労時間の増により智頭クラブの登録人数は増加。反面、土師児童クラブは減少。 ・令和5年度に旧諏訪保育園への施設統合を目指し、年次的に事業の効率化とスリム化を進める。 ・支援員同士の意識共有のための意見交換を重ね、保護者と支援員の円滑な意思疎通と困り感の解消に努める。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	国際感覚の醸成（韓国江原道楊口郡との交流と英語教育の充実）	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	外国語指導助手招致事業／国際交流事業	事業番号	1456／1529			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	10	連番	76

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	青少年の異文化理解を深め、国際感覚と幅広い視野で物事を考える力を身につける。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校にALTを配置し外国語教育を充実する。 ・韓国楊口郡との青少年交流により、中学生の世界観を広げ、将来にわたる心の成長を支援する。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額					9,290,525
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	ALTの小中学校配置	人	2	2	2	100%
②	小中ALT合同授業	回	1	1	1	100%
③	韓国訪問人数	人	12	12	0	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを小学校、中学校にそれぞれ一名配置し、外国語の授業をTT（ティームティーチング）で実施する。 ・外国語担当教員、小学校教員、ALTで連携し、小学校から中学校へのスムーズな外国語教育の移行を図る。 ・保育園でALTと園児との交流を図り、英語に親しめるようにする。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動、外国語科が本格実施され、小学校でのALTの活動場面は多くなった。教員の指導力向上とALT活用の両面で児童生徒の外国語への親しみと理解力を高める必要がある。 ・韓国との交流は感染症の影響を危惧し中止。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：ALTの活動により子どもたちの日常に英語が徐々に浸透してきている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT(2名)の更新となる。新規ALTが、智頭町での暮らしや学校現場に慣れるための支援を行う。 ・今後も保育園、小・中学校の様々な場面でALTを活用した外国語教育を進める。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	学校図書館の充実（学校司書配置継続と図書館との連携強化）	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	智頭小学校／中学校教育振興事業	事業番号	1593／1188			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	11	連番	77

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	子どもが楽しく学び、心を育むための読書の推進と学校図書館の充実を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校図書館への学校司書配置継続 ・智頭図書館との連携強化 ・図書購入費の充実

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額					6,437,977							
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)							
①	小中学校図書館へ学校司書を配置	人	2	2	2	100%							
②	図書購入達成率	%	100	100	100	100%							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">実施内容</td> <td colspan="6"> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校図書館へ学校司書を配置（会計年度任用職員） ・智頭図書館と連携し、授業支援や司書の研修を実施。 ・学校図書館の蔵書目標達成のための図書購入の予算化。 </td> </tr> </table>							実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校図書館へ学校司書を配置（会計年度任用職員） ・智頭図書館と連携し、授業支援や司書の研修を実施。 ・学校図書館の蔵書目標達成のための図書購入の予算化。 					
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校図書館へ学校司書を配置（会計年度任用職員） ・智頭図書館と連携し、授業支援や司書の研修を実施。 ・学校図書館の蔵書目標達成のための図書購入の予算化。 												

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)													
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%							
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E							
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E							
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E							
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E							
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E							
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E							
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E							
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E							
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">成果・課題</td> <td colspan="6"> <ul style="list-style-type: none"> ・図書の充実、智頭図書館との連携により、さらに子どもたちが読書に親しみ、学ぶ体制が確保できた。 ・小学校、中学校ともに学校図書館図書標準を達成した。 </td> </tr> </table>							成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の充実、智頭図書館との連携により、さらに子どもたちが読書に親しみ、学ぶ体制が確保できた。 ・小学校、中学校ともに学校図書館図書標準を達成した。 					
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の充実、智頭図書館との連携により、さらに子どもたちが読書に親しみ、学ぶ体制が確保できた。 ・小学校、中学校ともに学校図書館図書標準を達成した。 												

R2年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：住民の想いを新図書館に巧く繋げることができた。今後の活用が重要。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館及びちづ図書館を有効に活用し、子どもの学習意欲を刺激する。 						

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	智頭町教育ビジョンに基づく教育（成果の検証とさらなる向上対策の推進）	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	教育委員会費／地域で育む学校支援ボランティア事業	事業番号	1182／1995			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	12	連番	78

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	智頭町を愛し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和がとれ、『生きる力』をもつ子どもを学校・家庭・地域で育成するという基本理念の達成のため教育ビジョンに基づき取組と検証を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的学習 学校における各教科、総合的な学習の時間を中心に、ふるさとキャリア教育実施する。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額	1,324,831			
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	地域を素材とした学習の展開	校	2	2	2	100%
②	地域のボランティア人材の有効活用	校	2	2	2	100%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科、社会科、総合的な学習の時間を中心とした地域に根差した学習の実施。 ・町内学校ボランティア人材の活用。 ・中学校百人委員会への提案。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた地域学習を進めることができた。 ・町内学校ボランティアを活用し、地域の強みを生かした学びができた。 ・児童生徒の学びのプロセスを十分保障し、智頭の良さを感じられる活動の在り方を検討する。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 地域力を得て郷土学習が進んでいる。将来目標と融合した教育活動が必要。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源やコミュニティを活用し郷土学習を深め、地域への愛着や将来を見据えた学びへと導く。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	青少年の健全育成の推進	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	町成人式費／社会教育事業	事業番号	1194／1195		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	13	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	青少年育成指導員を中心に子どもたちの成長に繋がる体験活動や活躍の場を準備する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成指導員のスキルアップと組織強化を図り、子どもたちのニーズに沿った活動を展開する。 ・智頭町成人式の開催を支援する。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			835,225	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	指導員協議会の開催	回	7	12	7	100%
②	青少年の育成に関するイベント開催	回	1	2	1	100%
③	智頭町成人式の開催	回	1	1	0	0%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・8月8日(土)～9日(日)開催予定だったキャンプの中止と、代替事業として同日程でナイトハイクを実施。 ・指導員協議会の月1回の定期開催 ・成人式開催に向けた意向調査アンケートを実施【対象者56人のうち42人回答】 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーキャンプからナイトハイクに急遽変更したことで、当初のキャンプ参加者が半分以上欠席となった。 ・感染症の拡大により、成人式の開催方法の見直しを迫られた。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： イベント参加者が減少。ニーズ調査と活動内容の見直しが必要。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員協議会開催の出席率 ・サマーキャンプ等の事業の参加率の向上 ・成人式は、感染症の予防に配慮し、新たな生活様式を取り入れた開催内容を再検討する必要がある。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ちづNEXT	所属	企画課	SDG s	11、17	
事業（細目）名	百人委員会費	事業番号	1895			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	14	連番	80

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	中学生が智頭町のことを学習することで郷土愛を育み、その経験を活かし百人委員会の企画立案や実践に繋げる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の総合学習で智頭町に関する学習を実施。（5月～6月）

R2年度

Do(実行)					R2実績額	0円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	ちづNEXT（授業）	回	3	2	2	67%
②	担当教諭との打ち合わせ	回	7	5	5	71%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・第1回目ちづNEXT開催（6月29日） ・第2回ちづNEXT開催（6月30日） ・その他担当教諭との協議 				

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・中学生に智頭町について知ってもらおう事で、智頭町の課題や中学生にできることを考えて貰うことができた。 ・中学校と連携し、百人委員会へのスムーズな移行につなげることができなかった。 				

R2年度

評価	C
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由： ふるさと教育推進には重要な施策。ちづNEXTと百人委員会を機能的にすべき。

R2年度

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・ちづNEXTから百人委員会企画提案につなげるスケジュール等の共有、中学生の意欲の確認が必要。 ・R3は学生、教諭共にちづNEXTの目標の再確認を行うとともに、百人委員会企画提案へのサポートが必要。 ・ちづNEXTと百人委員会の重要性を役場と中学校互いに再確認し、共通認識を持つ。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	地域の良さと歴史文化など、郷土を大切にする学習の導入	所属	教育課	SDG s	4・11	
事業（細目）名	地域に学ぶワクワクちづ事業	事業番号	1536			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子供から大人までの学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	15	連番	81

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	智頭町で生まれ育つ子どもたちが、智頭を学ぶことによって将来にわたって郷土に愛着を持ち、将来、智頭に住んでも、智頭の外に住んでも、郷土を愛する心の育成を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクワクちづ（職場体験） ・百人委員会事業活用、各課との連携推進（山村再生課、企画課、福祉課等） ・地域住民との交流、地域に出かけ学ぶ活動の実施。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)			R2実績額			0
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	職場体験学習の実施回数	回	1	1	0	0%
②	職場体験の受入先の事業所数	箇所	23	23	0	0%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の影響により未実施 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・「ワクワクちづ」の実施は感染症防止対策との兼ね合いがあり、今後の在り方を検討する必要がある。 ・百人委員会事業活用では、学校負担過多にならない工夫をして学習を進める必要がある。 ・地域の人の仕事や、地域資源を知り、郷土を愛する心を育てる授業を実施することができた。 				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由： 意義ある事業なので、実施できる方法を検討したい。					

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験の機会は、子どもが将来の自身の姿を想像し、見通しをたてる良い機会であり、意義が深い。 ・今後、実施できる方法を再検討する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	図書館を中心にした賑わい創出	所属	教育課	SDG s	4
事業（細目）名	図書館費	事業番号	1770		
総合計画	基本理念	III子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	①学び	事業番号	18	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	住民に愛され必要とされる場となることを目指す
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を多くの住民に知ってもらうことにより、利用だけでなく図書館を中心とした新たな住民の交流を目指す。 ・関係課や関係団体との協議により、図書館だけでなく新たな賑わいを創出する幅広い事業を実施する。

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			270,000	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	住民ワークショップの実施	2回	2	2	2	100%
②	本に親しむための講座・講演会等の開催	2回	3	3	4	133%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・住民ワークショップの実施 ・関係機関と連携した事業実施 ・講演会、講座の開催 ・住民提案による事業実施 ・地域への出前講座 他 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・新図書館開館後、多くの来館者があり、想定以上に図書館が利用されている。 ・新図書館開館後も住民とともに図書館づくりを進めることを重点に、サービスについて継続協議している。 ・新型コロナウイルス感染症が拡大する中、図書館サービスについて適宜対策を検討する必要がある。 				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：さらに住民の暮らしの充実に貢献できるよう努める必要があるため。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携を強化し、事業実施につなげる。 ・図書館サービスの広報に努め、図書館が住民の居場所や交流の場所となることを周知する。 ・住民が提案する事業を図書館と連携して行う。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	各文化サークルの活動支援と参加者の加入促進	所属	教育課	SDG s	4・11
事業（細目）名	文化振興事業／生涯学習事業	事業番号	1193／1202		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	19	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	智頭町文化協会の活動支援、文化活動の参加、サークルへの加入促進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟団体における活動の充実 ・文化活動支援による住民参加促進

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			144,839	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	智頭町文化祭展示発表会来場者数	人	120	200	240	200%
②	代表者会の開催	回	10	10	6	60%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町内で文化活動を行っている団体、個人の活動披露の場として展示 ・文化協会団体への活動支援(19団体) 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策のため、予定していた音楽会(2件)、視察研修、文化祭芸能発表会を中止とした。 ・展示発表会(10月24日～25日)開催 参加者約240名 ・伝統文化の継承において、会員の高齢化による団体維持が難しくなってきているので、若者の継承者を育成する。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：住民の成果発表や生きがいとなる活動であり、継続させたい。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
各加盟団体で、引き続き後継者の確保、加入促進に向けて活動を継続する。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	11・4・15
事業（細目）名	文化財保護事業	事業番号	1192		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	20	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	町内文化財を保護・活用し、町民の郷土愛を育む。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内文化財の調査研究 ・智頭の林業景観整備計画策定

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額		5,422,759			
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)	
① 文化財の調査	回	0	1	1	—	
② 智頭の林業景観整備検討委員会の開催	回	3	3	2	67%	
③ 智頭の林業景観整備計画策定調査	%	50	50	50	100%	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の歴史的建造物を回り保存状態の確認、写真を記録した。 ・智頭の林業景観整備計画策定に向けた委員会を開催 ・智頭の林業景観整備計画策定に向けた調査を実施 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物を調査し、現状や劣化状況など把握した。 ・整備検討委員会及び調査により智頭の林業景観整備計画策定に向け情報が集まった。 ・「重要な構成要素」の老朽化が進み修繕費用の増加が見込まれる。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 専門員、学芸員等の協力を得て実施を継続したい。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・未指定の文化財の調査研究を行う。 ・予定していた整備検討委員会を全て開催できなかったため、令和3年度へ繰り越して整備計画の完成を目指す。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	11・4・15	
事業（細目）名	歴史の道整備活用推進事業	事業番号	1506			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	20	連番	84

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	歴史の道のき損箇所を復旧し、集客を目指した事業展開
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の道のき損箇所の復旧

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額		8,716,776			
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)	
① 災害復旧工事の進捗	%	50	75	75	150%	
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧工事を施工 ・岡山県西粟倉村との協賛で、峠越えの活用を図る 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度施工箇所は完成したが、今後の自然被害による対策が必要である。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：年次的に復旧が進んでいる。今後の資源活用が求められる。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
引き続き災害復旧工事を行う。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	11・4・15	
事業（細目）名	板井原集落整備活用推進事業	事業番号	1507			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	20	連番	84

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	伝統的建造物群保存地区の文化財価値を維持する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・き損及び老朽化した家屋等を修繕整備

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額				893,000	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	板井原集落保存協議会の開催	回	1	1	0	0%
②	伝統的建造物群保存地区保存整備費補助金の交付	人	1	1	1	100%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・板井原集落保存協議会の開催 ・伝統的建造物群保存地区保存整備費補助金の交付 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)		100%	75%	50%	25%	0%
評価項目	評価内容					
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原年彦家住宅に自動火災報知器を設置し、文化財の保護機能を高めた。 ・建造物の老朽化が進み修繕費用の増加が見込まれる。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：年次的に景観整備が進んでいる。今後の資源活用が求められる。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した家屋等を修繕整備を行い、伝統建築物の保全管理を行う ・集落協議会と今後のあり方について協議が必要

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	11・4・15	
事業（細目）名	石谷邸保存活用整備事業	事業番号	1562			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	20	連番	84

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	来館者の増加を目指し、持続可能な運営を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・石谷家住宅開館20年記念事業の実施 ・修繕箇所の対応 ・年間を通じたイベントの開催

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)	R2実績額					23,931,003
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	石谷家住宅の来館者	人	19,564	20,000	9,585	49%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・石谷家住宅開館20年記念事業の実施（5日間：765人入館） ・訪日外国人の誘客拡大を狙い、多言語翻訳システムの導入 ・智頭枕田遺跡展、因幡の麒麟獅子舞展といった教育委員会主催の展示イベントを開催 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なイベントを企画したが、新型コロナウイルスの影響があり来館者が大幅に減少した。 ・修繕箇所はその都度対応したが、今後も修繕費用の増加が見込まれる。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：保護と活用の両立に課題はあるが文化的価値を活かす活性化方策を模索したい。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの対策をしながらPRを行う。 ・重要文化財としての資質を残しつつ、コストを削減した維持管理が必要。 ・入館者数の増につながる、展示物等の企画立案を充実させる

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	文化財保護・活用方策の明確化	所属	教育課	SDG s	11・4・15	
事業（細目）名	遺跡発掘事業	事業番号	1477			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	20	連番	84

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	町内埋蔵文化財の認知度向上
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験 ・勾玉づくり体験教室 ・智頭枕田遺跡出土遺物の周知

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			2,800,690	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	縄文土器づくり体験の参加者	人	12	15	13	108%
②	勾玉づくり体験の参加者	人	10	10	13	130%
③	智頭枕田遺跡展の開催	回	1	1	2	200%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験を開催 ・勾玉づくり体験教室を開催 ・石谷家住宅で智頭枕田遺跡展を開催 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験、勾玉づくり教室は例年より参加者が増えた。 ・智頭の枕田遺跡展、縄文土器展を開催した。 ・「智頭枕田遺跡を保存活用を推進する会」のメンバーの高齢化により、体験学習の継続が懸念される。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 専門員、学芸員等の協力を得て実施を継続したい。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	<p>R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文土器づくり体験の開催方法を改善する必要がある。 ・小学生を対象とした事業は充実しているが、広い年代が埋蔵文化財へ興味を持つような仕掛けが必要。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	地域伝統文化の後継者育成	所属	教育課	SDGs	11・4・15
事業（細目）名	文化財保護事業	事業番号	1192		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	20	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	地域伝統文化を持続させる
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能、伝統文化の保存活動の支援 ・ 無形民俗文化財の記録・保存

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額	59,000			
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	町内伝統芸能の支援する補助金の交付	件	0	1	1	-
②	伝統芸能の披露する催しの開催	回	0	1	1	-
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新田人形浄瑠璃芝居相生文楽へ補助金を交付 ・ 石谷家住宅で麒麟獅子舞の演技を披露するイベントを開催 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新田人形浄瑠璃は、黒子衣装を揃えたことで、新たに加入したメンバーが演技に参加できるようになった。 ・ 石谷家住宅で芦津の麒麟獅子舞お披露目イベントを開催し、多くの方に見物いただいた。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：担い手の高齢化と後継者不足に課題あり。継承方を検討したい。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能、伝統文化を披露する場を提供し、保存団体のモチベーションの維持に繋げる。 ・ 県指定有形民俗文化財 智頭の林業道具の保存活用を考える必要がある

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	各地区公民館の地域の生涯学習拠点施設としての明確化	所属	教育課	SDG s	3・4・11	
事業（細目）名	地区公民館費	事業番号	1208			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	22	連番	86

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	地区住民による公民館活動を展開し、暮らしを彩る学びを増やす
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館の施設の管理（随時） ・各部屋の調整及び維持管理（随時） ・地区住民の公民館活動の計画、実施

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			25,308,220	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	各地区公民館の維持管理	回	2	2	2	100%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館の施設の管理（随時） 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な修繕とは言えないが、随時修繕が行えた 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：新しい生活様式を取り入れることで、活動が再開できるため				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式を取り入れ、会議や行事について方法を考えてもらい、目標を達成する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	各地区公民館と中央公民館の役割の明確化と連携強化の促進	所属	教育課	SDG s	3・4・11	
事業（細目）名	中央公民館事務費	事業番号	1200			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	23	連番	87

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	中央公民館の運営と地区公民館との連絡調整を図り、暮らしを彩る学びを増やす
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館連絡協議会の開催（随時） ・ 地区公民館主催の行事の巡視 ・ 東部地区社会教育関係者研修会への参加

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			13,996,048	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	東部地区社会教育関係者研修会参加	人	2	9	9	450%
②	地区公民館祭の巡視	人	4	4	0	0%
③	公民館連絡協議会の開催	回	1	3	3	300%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地区公民館の行事進捗状況の把握 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナウィルス感染症拡大防止のため、各地区の行事が中止となったが、地区公民館の状況把握を共有できた。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：新しい生活様式を取り入れることで、活動が再開できるため				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい生活様式を取り入れ、会議や行事について方法を見直し、目標を達成する。

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	各地区公民館と中央公民館の役割の明確化と連携強化の促進	所属	教育課	SDG s	3・4・11
事業（細目）名	中央公民館管理事業	事業番号	1207		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	23	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	中央公民館の施設及び環境整備を行い、生涯学習拠点施設とする
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館の施設の管理（随時） ・各部屋の調整及び維持管理（随時）

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			9,562,021	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	各部屋の利用実績人数の把握	月	12	12	12	100%
②	電気、ガス、水道等の使用料の把握	月	12	12	12	100%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋の利用状況、状態の把握 ・電気、ガス、水道の使用料の把握 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染症拡大防止のため、各部屋の使用が減少したが、使用可能にする対策を講じた 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：新しい生活様式を取り入れることで、活動が再開できるため				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<p>施設の老朽化により年次的な修繕が必要となるが、住民活動の促進のためにメンテナンスをしつつ効果的な活用を進めたい。図書館の移転スペースの活用及び分散勤務による感染症対策などを検討する必要がある。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	図書館事業	所属	教育課	SDG s	4
事業（細目）名	図書館費	事業番号	1770		
総合計画	基本理念	III子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	①学び	事業番号	24	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	住民の生涯学習拠点として、資料を整備し図書館サービスと読書事業の展開を図る。				
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館サービスの充実と新規図書館利用者の開拓 ・ 子どもの読書環境の整備 ・ 地域資料の充実 ・ 高齢者の読書活動の支援 ・ 図書館利用啓発事業 ・ 新図書館開館へ向けた準備 				

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			29,571,746	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	新規利用者登録数	人	131	135	332	253%
②	1人あたりの貸出冊数	冊	5.9	6	6.8	115%
③	貸出利用者数	人	10,979	10,992	11,686	106%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの読書活動推進 ・ 地域資料寄贈の呼びかけと献本の受入 ・ あたマイキイ音読教室の実施 ・ 図書館Facebookの活用 ・ 図書館Webサイトの運用開始 ・ 保育園、学校図書館との連携 他 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、小学校、中学校等との連携による子どもの読書活動の推進が図れている。 ・ 図書館Webサイトの運営を開始し、日常利用だけでなく図書館づくりも記した充実した内容になった。 ・ 住民一人あたりの貸出冊数は増えているが、さらに図書館を利用する住民の割合を上げていくことが課題。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 新図書館が開館したが、今後さらに多くの方に利用してもらうことが課題であるため。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)					
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の多様な活動への図書館サービスの充実 ・ 図書館サービスや利用について、住民への周知を図る ・ 住民提案の事業の連携実施 				

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	智頭農林高校との連携	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	智頭農林高校協働連携事業	事業番号	2008		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	16	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	行政と智頭農林高校が連携し、農林高校の魅力アップ、活性化を図る。また、百人委員会学生の部に参加し、学生自らが汗をかき、実践することで、やりがいを生ませることを目的とする。
Plan(事業概要・計画)	・百人委員会学生の部への参加

R2年度

Do(実行)		R2実績額				300,000円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	ちのりんショップの開催	回	9	4	6	67%
②						
③						
実施内容	・百人委員会活動の実践・企画提案会への参加（智頭宿魅力アッププロジェクト、ちのりんショップの運営）					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・地元高校生の百人委員会への参加により、郷土愛の醸成に繋がった。 ・智頭宿魅力アッププロジェクト、ちのりんショップの運営により、智頭宿や商店街の活性化に繋がった。					

R2年度

評価	B		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	B	評価理由： 智頭農林高校の存続問題にもつながるため、もっと積極的に関わる必要がある。					

R2年度

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
・引き続き百人委員会への参加を促す。 ・地域おこし協力隊の導入が無くなったので、新たな連携の在り方を模索する必要がある。 ・県教委もR3年度は農林高校に積極的に関与するため、情報共有などの連携強化を図る。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	森林・林業教育の推進(児童・生徒の学習体験、木育の推進等)	所属	山村再生課	SDGs		
事業(細目)名	山と暮らしの人づくり事業	事業番号	2085			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	学び	事業番号	17	連番	90

R2年度(4月記入)

Goal(目標)	幼少期から木にふれあい、森林への関心を醸成し、生活の中における木材への関心を深める。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の新生児に木製おもちゃ(智頭町産材製)を誕生記念として贈呈 ・木製おもちゃの製作体制を再構築するため、デザインを外部委託 ・木育キャラバンin智頭町の開催

R2年度(年度末実績を記入)

Do(実行)			R2実績額			2,000,808円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	新生児木のおもちゃ贈呈	人	23	40	30	130%
②	木育キャラバンin智頭町参加者	人	230	230	0	0%
③						
実施内容		<p>・アウトスタード事業でアサイン業務について外部委託し、アサインを1本化することで町内の生産体制構築を行い事業を効率よく行つた。</p> <p>・町内の子供達が集まる施設(保育所等)に智頭杉製の木のおもちゃを常時設置し、身近に木のおもちゃで遊べる環境を作り、木育について日々体験できる空間を提供する。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対応により木育キャラバンの開始を中止</p>				

R2年度(年度末実績時のチェックを記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>・新生児への木製おもちゃのデザインを外注し、智頭町らしく、木の良さを伝えるデザインとなり、おもちゃの製造についても生産体制を見直すことが出来た。</p> <p>・保育園、図書館、病院等に木製おもちゃを設置し、身近に木製おもちゃで遊べる環境となった。</p>				

R2年度(年度末評価を記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由: コロナ禍で制約を受けたが、新生児用の定番おもちゃを製作できた。				

R2年度(年度末改善方針を記入)

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応により、2年度は木育キャラバン開催を中止としたが、3年度は例年どおり開催する。 ・新生児への木製おもちゃの贈呈について、より木育の趣旨を理解してもらえるよう検討する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	企業支援事業		所属	企画課	SDG s	8
事業(細目)名	商工振興費		事業番号	1165		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	仕事	事業番号	12	連番	91

R2年度(4月記入)

Goal(目標)	企業ニーズに応じた柔軟な補助制度の検討及び創設。					
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内企業訪問による個別ヒアリングシートの作成。 ・智頭町・鳥取県補助制度の周知。 ・新型コロナウイルスの影響を受けた町内中小企業の事業継続を図るための企業支援。 					

R2年度

Do(実行)			R2実績			43,873,000円	
活動実績を示す指標			単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	(コロナ) 中小企業支援交付金		件	-	375	262	-
②	新規創業及び店舗改修補助の実施		件	2	6	6	300%
③	電話ヒアリングも含めた定期的な町内企業訪問の実施		回/1社	2	3	5	150%
実施内容			<ul style="list-style-type: none"> ・電話ヒアリングも含めた定期的な企業訪問の実施。 ・商工会と協力し、コロナ被害を受けた中小企業者への補助制度創設。 ・新規創業、店舗改修事業の実施及び現状に応じた補助制度の改正。 				

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで打撃を受けた町内中小企業に迅速な支援を行った。 ・商工会との連携による補助制度周知の徹底。 				

R2年度

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	検証は、コロナ禍だから実施したということではなく、企業支援全体を見通し 評価理由： て検証し、次年度事業を検討するべき。商工振興が町の賑わいを創出するエンジンである。				

R2年度

Action(改善)						
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画						
<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問及びヒアリングを積極的に行い企業支援全体を見通した検証を行い、効果的な補助制度の創出を行っていく。 						

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	イベント活性化促進事業	所属	企画課	SDGs	9
事業（細目）名	地域支援推進事業	事業番号	2021		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	3	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	町内のイベントに出店団体の参加を促す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・「杉小判」を活用し、町内イベントへの出店者の増加を目指すことで、町全体の盛り上がりを図る ・地域活性化制度の周知 ・制度について問題点等の検討

R2年度

Do(実行)		R2実績見込額			0円	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績見込)	対前年比(%)
①	対象イベント開催回数	回	4	0	0	0%
②	杉小判交付団体数	団体	5	0	0	0%
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対象イベントが中止になる可能性が考えられたため地域通貨発行条件の最低出店回数を変更した。 ・対象イベントが一度も開催されなかった。 ・地域活性化制度を周知した。 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・対象イベントがすべて中止となったため、実績無し。 					

R2年度

評価	C
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	C
----	---

評価理由：	イベント開催の有無により実績が変動するが、イベント参加率を高める手法を今後も検討していく必要がある。
-------	--

R2年度

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は対象イベントが開催されなかったため事業実績無しとなった。R3年度以降、対象イベントが開催される際に申請団体が途切れないよう、団体への周知を徹底する必要がある。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ゼロイチの更なる発展	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	日本1/0村おこし運動	事業番号	1482		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	4	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	日本1/0村おこし運動を行っている地区振興協議会のソフト事業に対し補助を行う。また、地区振興協議会が行政と住民の中間的組織となり、自立した地域運営組織となる事業を行う。その他事務局員に集落支援員等を配置し、事業運営を促進する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な連絡協議会の開催 ・ 指定管理者制度の導入 ・ 円滑な事業運営を行うための集落支援員の配置 ・ 各地区振興協議会事務局との連携強化 ・ 各地区における将来ビジョンの形成・具現化 ・ 補助制度終了後の地区のサポート

R2年度

Do(実行)		R2実績額			2,700,000円	
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	連絡協議会の開催	回	4	2	4	100%
②	補助件数	件	3	3	3	100%
③	指定管理者制度導入数（地区振）	団体	0	3	3	-
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡協議会を2回開催 ・ いざなぎ振興協議会、土師地区振興協議会、富沢地区振興協議会へ補助金交付（富沢地区はコミュニティ助成事業も実施） ・ 山形地区、いざなぎ、山郷地区振興協議会が指定管理者制度を導入 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡協議会の開催により各地区の状況など情報共有が図れた。 ・ 集落支援員の配置により各地区振興協議会における円滑な事業運営に貢献した。 ・ 一般社団法人化するなど、自立に向けた動きがあった。これは目指す姿の実現に近づいている 					

R2年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 本町の重要施策であり、自立に向けた動きもある。今後は持続可能な運営について伴走していく必要がある。				

R2年度（11月末に記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き各地区振興協議会が連携を取り、地域活性化の強化を図る。 ・ 指定管理者制度導入後に発生する問題に対して柔軟に対応していくことが必要。 ・ R3年度で全地区振興協議会の補助金期間が終了するので、自立に向けた運営に向けて働きかけが必要。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	空き校舎等活用推進	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	空き校舎等利活用推進事業	事業番号	1966		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	7	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	廃校となった5つの空き校舎を地元住民が活用について検討し、地域に見合った利活用を検討し、実践する。また活用するにあたり、インフラ整備については、行政が一部補助を行い、空き校舎の利活用を推進する。さらには先進地視察を行い情報収集し、今後の活動に活かす。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区内の空き校舎の利活用に向けた事業協議の実施 ・利活用に向けた企業誘致等 ・地区の要望に添った校舎の改修 ・指定管理者制度に関する設備整備 ・空き校舎等利活用幹事会の開催による情報共有・要望調査の実施 空き校舎利活用の先進地の活用事例等の研究

R2年度

Do(実行)	R2実績額				31,377,090円		
活動実績を示す指標			単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	補助金の利用件数		件	5	1	1	20%
②	幹事会の開催		回	3	1	2	67%
③	先進地視察		回	1	0	0	0%
実施内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・山形地区に1社の企業誘致（智頭町空き校舎等利活用実践事業補助金活用） ・旧那岐小学校改修に向けた設計 ・空き校舎等利活用幹事会を開催2回 							

R2年度

Check(確認)							
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%	
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E	
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E	
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E	
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E	
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E	
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E	
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E	
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E	
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E	
成果・課題							
<ul style="list-style-type: none"> ・旧山形小学校の一部を改修し、企業を誘致したことで山形地区の活性化につながった。 ・旧那岐小学校改修に向けた設計と併せて地域住民を交え、計画・方針の共有を行うことが出来た。 ・指定管理者制度を導入後、課題はあるが随時対応できている。 							

R2年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： ゼロイチ活動の拠点であり、その充実については行政の責務において実施しており、地区運営の一助となっている。				

R2年度

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・旧那岐小学校改修に向け、スムーズに事業を進める。 ・富沢コミュニティセンターが完成し、指定管理者制度導入に向け各種データを収集する。 ・各地区での研究や、先進地視察で得た情報を具現化（これまでの研究成果や、先進地視察を通じて得た情報を持ち帰り、それぞれの地区でできることを検証しアウトプットする） ・引き続き各地区の連携強化を図り、各地区独自の利活用・活性化を検討（今後も各地区が情報共有を図り、企業誘致等を始め独自の取り組みを検証し、地域経営や活性化に結び付ける） 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	空き校舎等利活用研究事業	所属	企画課	SDG s	11	
事業（細目）名	空き校舎等利活用推進事業	事業番号	1966			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	8	連番	96

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	空き校舎等の利活用について5地区が連携して学習・協議し、持続性を高める。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・空き校舎等利活用幹事会の開催による情報共有・要望調査の実施 ・空き校舎利活用の先進地の活用事例等の研究

R2年度

Do(実行)		R2実績	0円			
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	幹事会の開催	回	3	1	2	67%
②	先進地視察	回	1	0	0	0%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・空き校舎等利活用幹事会を開催2回 				

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・利活用幹事会を通じて各地区が検討している課題についての情報共有を行えた。 				

R2年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由： インプットすることは重要であるが、視察などの候補地は各地区振興協議会が選定するなど、自主性を促す必要がある

R2年度

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・各地区での研究や、先進事例で得た情報を具現化（これまでの研究成果や、先進地視察を通じて得た情報を持ち帰り、それぞれの地区でできることを検証しアウトプットする） ・引き続き各地区の連携強化を図り、各地区独自の利活用・活性化を検討（今後も各地区が情報共有を図り、企業誘致等を始め独自の取り組みを検証し、地域経営や活性化に結び付ける） 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R2年度実績検証用】

事業名	地域体育館（空き校舎）の生涯学習・交流の場としての活用	所属	教育課	SDG s		
事業（細目）名	公共施設管理事業	事業番号	2029			
総合計画	基本理念	Ⅲ 子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	③仲間	事業番号	11	連番	97

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	旧小学校等の教育施設を地域活動及び交流の場として活用し、生涯学習の推進を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・町公共施設(旧小学校・保育園・遊具等)の適正な管理を行う

R2年度（年度末実績を記入）

単位：円

Do(実行)		R2実績額			9,127,804	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	管理する施設数	施設	2	1	1	50%
②	安全点検を行う遊具設置施設	施設	8	7	7	88%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・旧土師小学校の井戸水、光熱設備、消防設備等の機能を保持するために適正に管理を行った。 ・町内7施設に設置された遊具の安全点検を行い、必要に応じて修繕または撤去を行う。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の多様な保育ニーズに沿ったきめ細かい保育サービスの提供。 ・利用を希望された保育サービスを提供するために必要な職員の確保及び配置の維持。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：地域のスポーツ拠点、催しの場として有意義に利用されている。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・旧小学校施設の多くは各地区振興協議会への指定管理委託を実施しており、旧土師小学校も地区で維持管理できる体制が理想である。 ・今後、個別施設計画に基づいた維持管理とコスト削減、地区住民等による利活用の推進が求められる。 ・遊具の安全点検結果に基づき、老朽化した遊具の修繕または撤去を行う予定。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	百人委員会	所属	企画課	SDGs	11、17
事業（細目）名	百人委員会費	事業番号	1895		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	11	連番

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	町民がまちづくりに参加し、町をよりよくしようという意識を醸成する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・百人委員会各部会の開催（随時） ・百人委員会総会の開催（3月） ・百人委員会中学生の部を計画的にフォロー ・部会を超えたワークショップ開催（1回） ・百人委員会提案会の開催（12月）

R2年度

Do(実行)	R2実績額					1,520,988円
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	企画提案数	件	11	14	13	118%
②	百人委員会委員数	人	97	98	90	93%
③	企画実行数	件	11	11	9	82%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・百人委員会各部会の実施 ・企画提案 一般 8件 高校生 2件 中学生4件 ・運営委員会の開催 3回 					

R2年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染症拡大防止のため、出発式が中止となったが、各部会が出来る範囲で活動した。 ・実働委員の固定化が課題であり、参加意欲が創出される仕組みづくりが必要である。 					

R2年度

評価	B
----	---

担当課長評価

評価	A
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

評価理由： 本町の重要施策であるが、マンネリ化も否めないため、運営委員会と打開策について継続検討が必要。また中学生においては寄り添ったアドバイスが必

R2年度

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の提案を実行し、今年度の提案内容を検討するための活動を支援する。 ・百人委員会ニーズ調査を実施し、仕組みの改革を図る。 ・継続的な事業のゴールを定めるかどうかを判断する。 ・会議や発表の場について方法を見直し、オンラインや動画を活用する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	総合計画周知及び実践事業(検証含む)	所属	企画課	SDG s	11
事業(細目)名	まちづくり事務費	事業番号	1011		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	12	連番

R2年度(4月記入)

Goal(目標)	第7次総合計画の内容を住民に周知し、役場の仕事を知ってもらう。また、実践したことを検証、評価し、公表することで住民の理解を得る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画事業の新規事業の追加等整理を行う。 ・各課の実績をまとめる。 ・ホームページで進行管理検証シートを公表する。

R2年度(年度末実績を記入)

Do(実行)	R2実績額					0円
活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)	
① 進行管理検証シートの公表	回	1	1	1	100%	
②					#DIV/0!	
③					#DIV/0!	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各課の進行管理検証シートをとりまとめ、公表した。 ・昨年と今年の評価を比較し、検証を行った。 					

R2年度(年度末実績時のチェックを記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・進行管理検証シート作成を年度末に各課に依頼し、公表は7月であった。事業を検証すべき時期を予算要求時期に合わせるべきである。来年度事業を行うために、事業内容、実行の状況などを予算要求前に検証すべきである。 					

R2年度(年度末評価を記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由: 妥当性・有効性ではC、Dが多いが、R3年度当初予算への反映など進化が見える。				

R2年度(年度末改善方針を記入)

Action(改善)					
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画					
<ul style="list-style-type: none"> ・R2の進行管理検証シートをR3の予算要求への添付資料とし、シートも改善した。 ・R3予算要求時に新規、廃止事業の整理、SDG sのGoalの整理、視点を取り入れる。 ・R3は4月の時点でPlanを作成するよう各課に依頼し、計画を立てた上で事業を進めるようにする。 					

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	国内交流事業の積極的な推進	所属	企画課	SDG s	17	
事業（細目）名	観光事業	事業番号	1167			
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり				
	視点	仲間づくり	事業番号	16	連番	100

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	摂津市農業祭への参加に代わる、智頭町と摂津市の交流の模索し、智頭町のPRを行う。 摂津市以外の市町村と交流の場を設け、智頭町を全国へPRする。
Plan(事業概要・計画)	・源流サミットへの参加 ・摂津市との新たな交流を模索する

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R2実績額	0円
活動実績を示す指標	単位	R1
①		
②		
③		
実施内容	・新型コロナウイルス感染症により各種事業が中止となった	

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・オンライン等での積極的な交流を検討する必要がある。					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	D	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： 国内での交流事業を推進することは重要であり、今後は摂津市に限らず交流 拡大も視野に入れるべき				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
・摂津市との市街宿泊施設利用補助について令和3年4月に覚書を締結することとなったが、現状摂津市と観光協会だけなので町としても携われるように今後の交流を模索していく。 ・源流サミットの実施について他町と協議を重ね開催方法を検討する。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	国際交流の推進	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	国際交流事業	事業番号	1678		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	17	連番 101

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	大韓民国江原道楊口郡と青少年交流、民間団体交流、職員交流などを行うことで、他国の文化や制度を知り、人材育成や地域間の交友を深める
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者協議の開催 ・青少年交流のフォロー

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額			19,480円	
活動実績を示す指標		単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	実務者協議	回	1	1	1	100%
②						
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・町長と楊口郡郡守のオンラインによる顔合わせを行った、 ・楊口郡担当者と連絡を密に取った。 				

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ渦のため交流事業が実施できなかった。 ・コロナが収束した際にはすぐにでも交流事業が再開できるよう担当者間で密な連絡を取り合う必要がある。 				

R2年度（年度末評価を記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由： 智頭町側のリクエストが十分に理解されていないと思われる。できることをできる範囲で行うことになってしまう。				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・突発的な問題が生じた場合でも交流が継続できるよう事業を見直す。（オンライン交流） ・継続課題である物的交流について協議を重ねていく。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	SDG s 推進事業	所属	企画課	SDG s	17
事業（細目）名	まちづくり事務費	事業番号	1011		
総合計画	基本理念	子どもから大人まで学びと成長のまちづくり			
	視点	仲間づくり	事業番号	新	連番 III-1

R2年度（4月記入）

Goal(目標)	SDG s の取組を浸透させ、SDG s を意識して、つながることのできる地域をめざす。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・SDG s について、理解を深めるため庁舎内での研修を行う。 ・SDG s について、広報等で住民に周知する。

R2年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R2実績額	0円			
	活動実績を示す指標	単位	R1	R2(計画)	R2(実績)	対前年比(%)
①	庁舎内研修	回	2	2	2	100%
②	広報等での周知	回	1	1	0	0%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日南町役場とのSDG s 研修で交流を行った。 ・広報等で住民に周知を図ることができなかった。 					

R2年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・役場内でもSDG s に関しての理解で深まっていないため、職員でまず理解を深めることが必要 ・SDG s について、広報等での周知ができなかった。 					

R2年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	SDG s の考え方は広範であり、全課において周知を促す必要がある。特に百 評価理由：人委員会などではどのゴールに位置づけているのかを意識しながら実行しても うらうことが必要				

R2年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
	R2実施内容の改善及び見直しの上、R3の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を実施し、SDG s の考え方を浸透させる。 ・総合計画の見直しの時期となるため、SDG s の視点を取り入れ、総合計画を見直していく。 ・ワークショップ等住民との話し合いの際に、SDG s 視点を取り入れ、SDG s を身近に感じてもらう。